

移動に関する課題解決に向けた基本方針

玉村町

令和 5 年 3 月

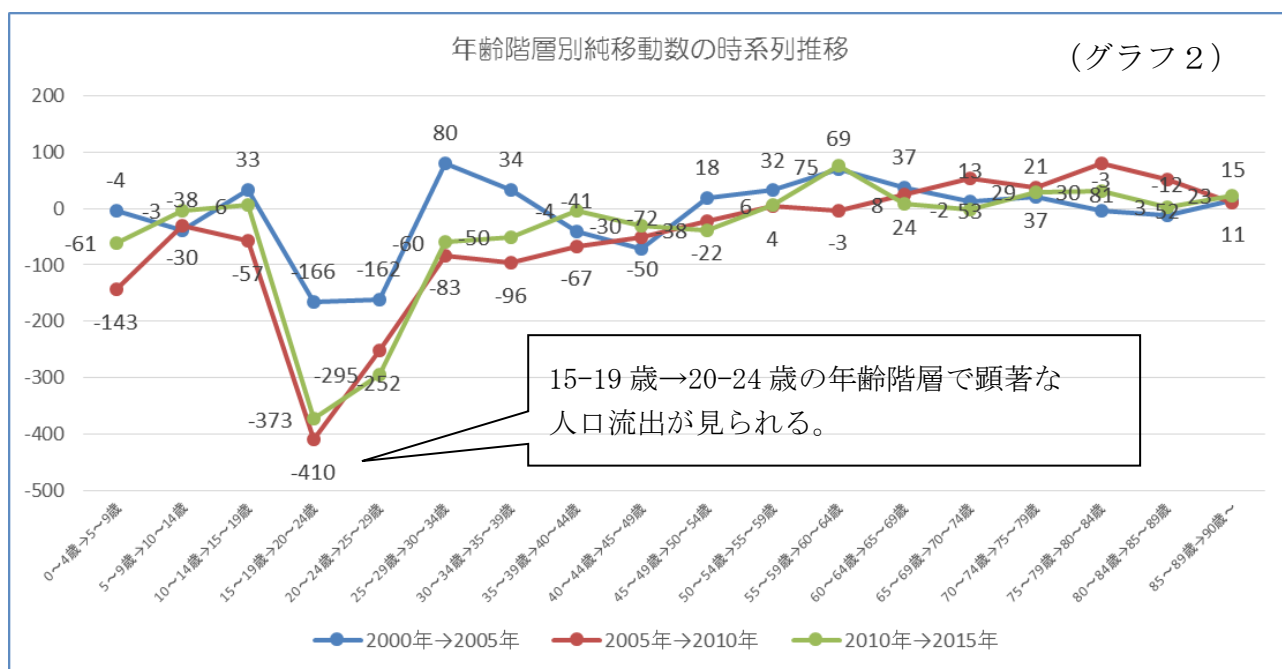
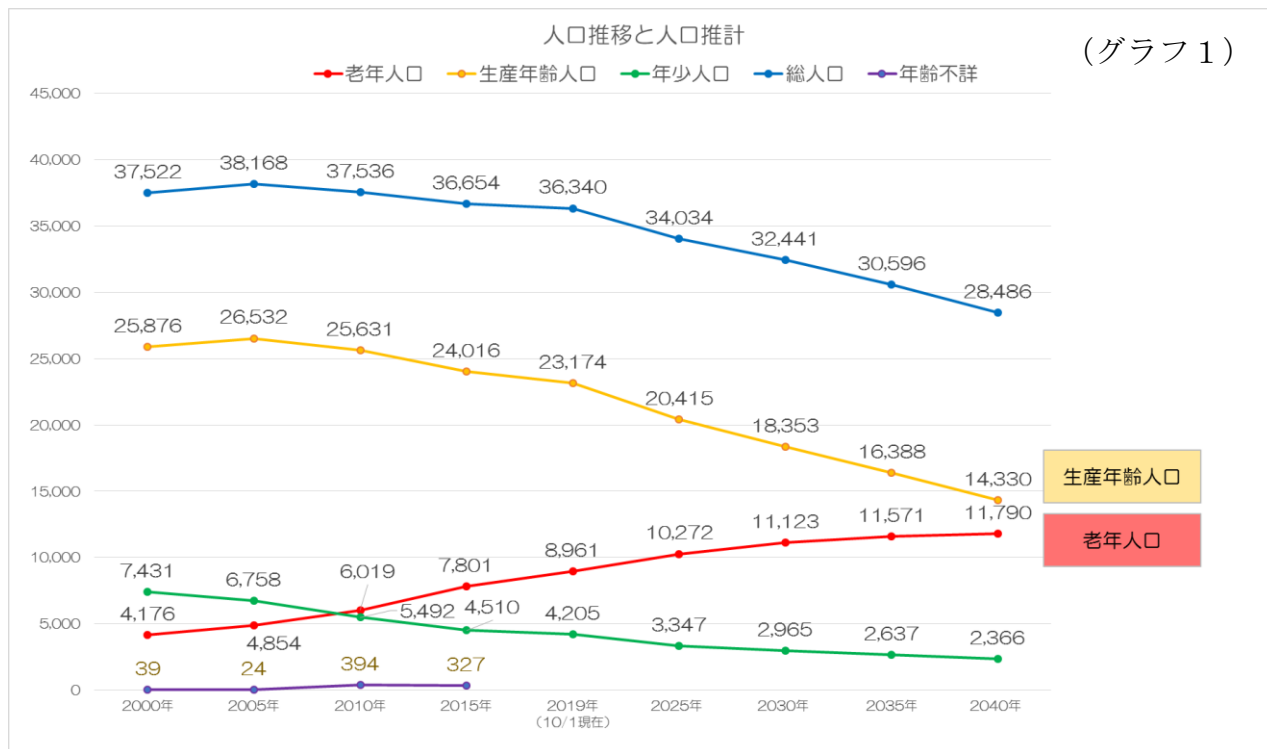


# 1 玉村町の現状

## (1) 少子高齢化と若年層の流出

本町の人口推移と今後の推計は(表1)のとおり、2040年には人口が28,486人に減少する一方、老年人口が11,790人と全人口の41%になると予想されている(表1)。

なお、年齢階層別純移動数の時系列推移をみると、(表2)のとおり15歳から24歳の若者の多くが町外へ流出していることが分かる。



## (2) 高齢者（75歳以上）の運転免許証の現状

高齢者の免許保有者は増加しているが、自主返納率は横ばい傾向にあり、高齢ドライバーが増えている。

高齢者（75歳以上）の人口と運転免許証の保有・返納の推移 (表1)

年	人口 (人)	免許保有者 (人)	免許保有率	自主返納者 (人)	自主返納率
H27	3,316	1,338	40.3%	31	2.3%
H28	3,454	1,471	42.6%	45	3.1%
H29	3,635	1,572	43.2%	64	4.1%
H30	3,804	1,699	44.7%	77	4.5%
R1	3,943	1,802	45.7%	129	7.2%
R2	4,091	1,888	46.2%	126	6.7%
R3	4,174	2,045	49.0%	106	5.2%

## (3) 通勤・通学の町外への移動状況

地域経済分析システム（RESAS）によると、町外への通学者は1,000人を超えているが、町内への通学者はわずかである。町外通学者の多くは自転車利用と思われる。また、10,000人を超える住民が町外へ通勤しているが、その多くは自家用車利用と考えられる。

RESASによる玉村町の通学・通勤における人の動き(2020年) (表2)

順位	通学における人の動き				通勤における人の動き			
	町内へ流入者 (人)		町外へ流出者 (人)		町内へ流入者 (人)		町外へ流出者 (人)	
1位	前橋市	94	高崎市	469	高崎市	2,554	高崎市	3,469
2位	高崎市	71	前橋市	463	前橋市	1,986	前橋市	2,907
3位	伊勢崎市	58	伊勢崎市	261	伊勢崎市	1,785	伊勢崎市	2,555
4位	太田市	14	藤岡市	119	藤岡市	772	藤岡市	884
5位	藤岡市	9	桐生市	54	太田市	163	太田市	392
全体	369		1,260		8,989		11,669	

#### (4) 路線バス利用者の推移

路線バスの利用状況は、コロナ禍により大幅減少したものの、永井、群馬中央バスとも表4、表6のとおり流行前に戻りつつある。

##### ① 永井バス

1日の便数 (表3)

系統	平日	休日
前橋－玉村	10便	8便
玉村－前橋	9便	8便
玉村－新町	11便	8便
新町－玉村	11便	8便

利用者数・負担額の推移 (表4)

年度	利用者数 (人)	負担額 (千円)
H28	99,332	2,990
H29	106,661	3,836
H30	138,035	4,385
R1	110,545	1,874
R2	66,274	3,021
R3	108,867	8,155

※永井バスは前橋市との共同運行であり、新町～前橋間の運行経費全体を距離案文により負担している。

※令和3年度の負担額の大幅増加は、車両購入費2,921千円が含まれていることと、令和2年度の利用者が減少した影響により、運賃収入が激減したため（負担額は前年度運行費をもとに算定する）。

##### ② 群馬中央バス

1日の便数 (表5)

系統	平日	休日
高崎－玉村	8便	5便
玉村－高崎	8便	5便
玉村－伊勢崎	5便	0便
伊勢崎－玉村	5便	0便

利用者数の推移 (表6)

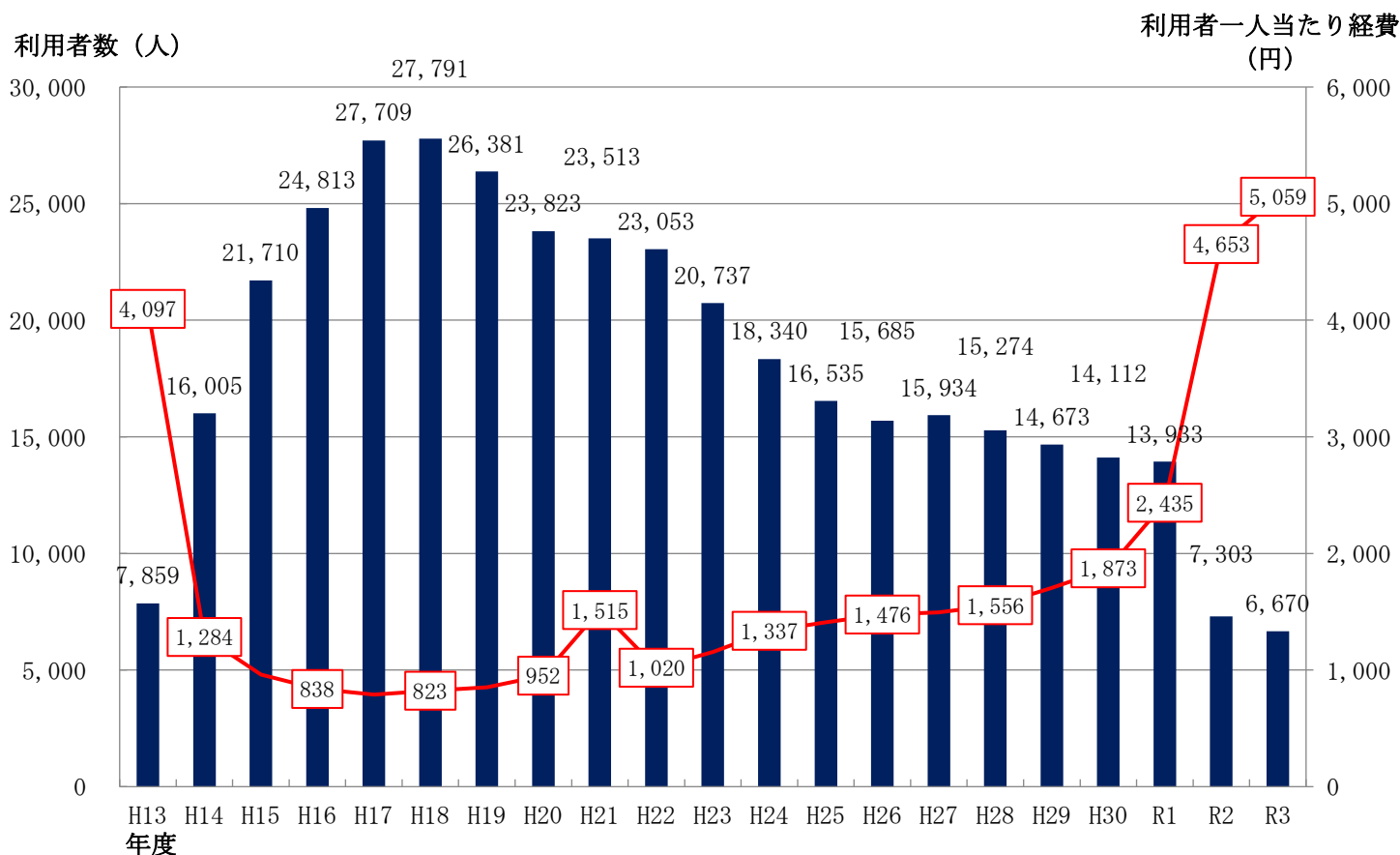
年度	利用者数 (人)
H28	52,792
H29	54,169
H30	55,184
R1	51,379
R2	28,167
R3	40,375

### (5) 乗合タクシー「たまりん」の利用者数の推移

平成13年9月の運行開始から平成18年度までは右肩上がりに利用者が増加（最高年間27,791人）していたが、以降は利用者の減少が続き、新型コロナウイルスの影響もあり、令和3年度は過去最低の年間6,670人となっている。

利用者の減少に伴い、運賃収入及び群馬県からの運行補助金が減額され、一方では人件費や燃料費等の運行経費が上昇しているため、表7のとおり運行会社に対する補助金が増加している

たまりん利用者数と利用者一人当たり経費の推移 (グラフ3)



たまりん事業費の推移 (表7)

支出年度	たまりん町補助金 (円)	左記の内車両補助金 (円)	利用者一人当たり経費 (円)
H28	23,831,000		1,556
H29	23,771,000		1,704
H30	25,000,000		1,873
R1	32,415,000	5,984,000	2,435
R2	33,208,000	5,267,000	4,653
R3	33,984,000	5,267,000	5,059

※たまりん利用者減少の主な原因

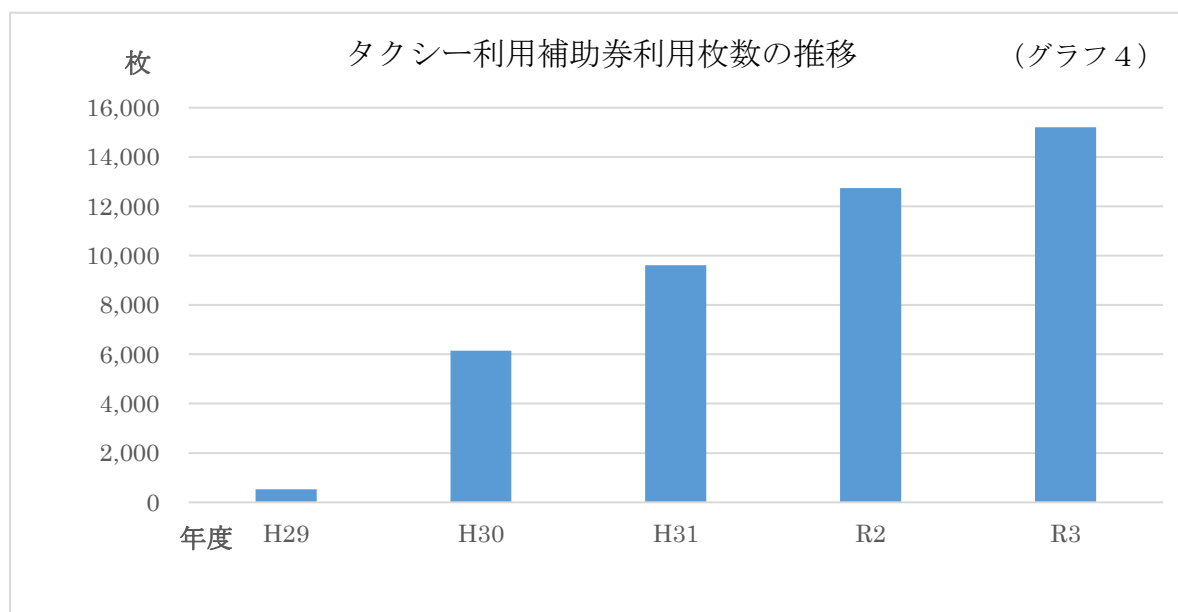
- ・高齢者の運転免許証所持者の増加により、自家用車を利用する高齢者が増加した。
- ・停留所までの移動が困難、面倒。
- ・乗り継ぎや帰りなどに時間が合わない。(ちょうどいい時間がない)
- ・高崎高等特別支援学校の利用者が徐々に少なくなっている。
- ・利用の仕方が分からない。
- ・コロナ禍でタクシーを選択する人が増加した。(タクシー利用補助券交付の余波の可能性も考えられる)

**(6) タクシー利用補助券の利用状況**

高齢者の増加や免許返納者の増加により、(表8)のとおりタクシー利用補助券の利用者は年々増加している。それに伴いタクシー会社への補助金額も増加し、今後の高齢化進行によりさらに増え町財政を圧迫することが予想される。

タクシー利用補助券利用状況の推移 (表8)

支出年度	交付者数 A (人)	利用者数 B (人)	利用率 (B/A) (%)	利用枚数 (枚)	タクシー利用 補助金 C (円)	利用者一人当たり 経費 (C/B) (円)
H29 (半期分)	253	199	78.6	521	260,440	1,309
H30	573	352	61.4	6,148	3,042,750	8,644
R1	966	527	54.6	9,618	4,769,720	9,051
R2	990	371	37.5	12,746	6,296,930	16,973
R3	1,051	593	56.4	15,208	7,496,980	12,642



### (7) 移動に関する交通対策事業費の推移

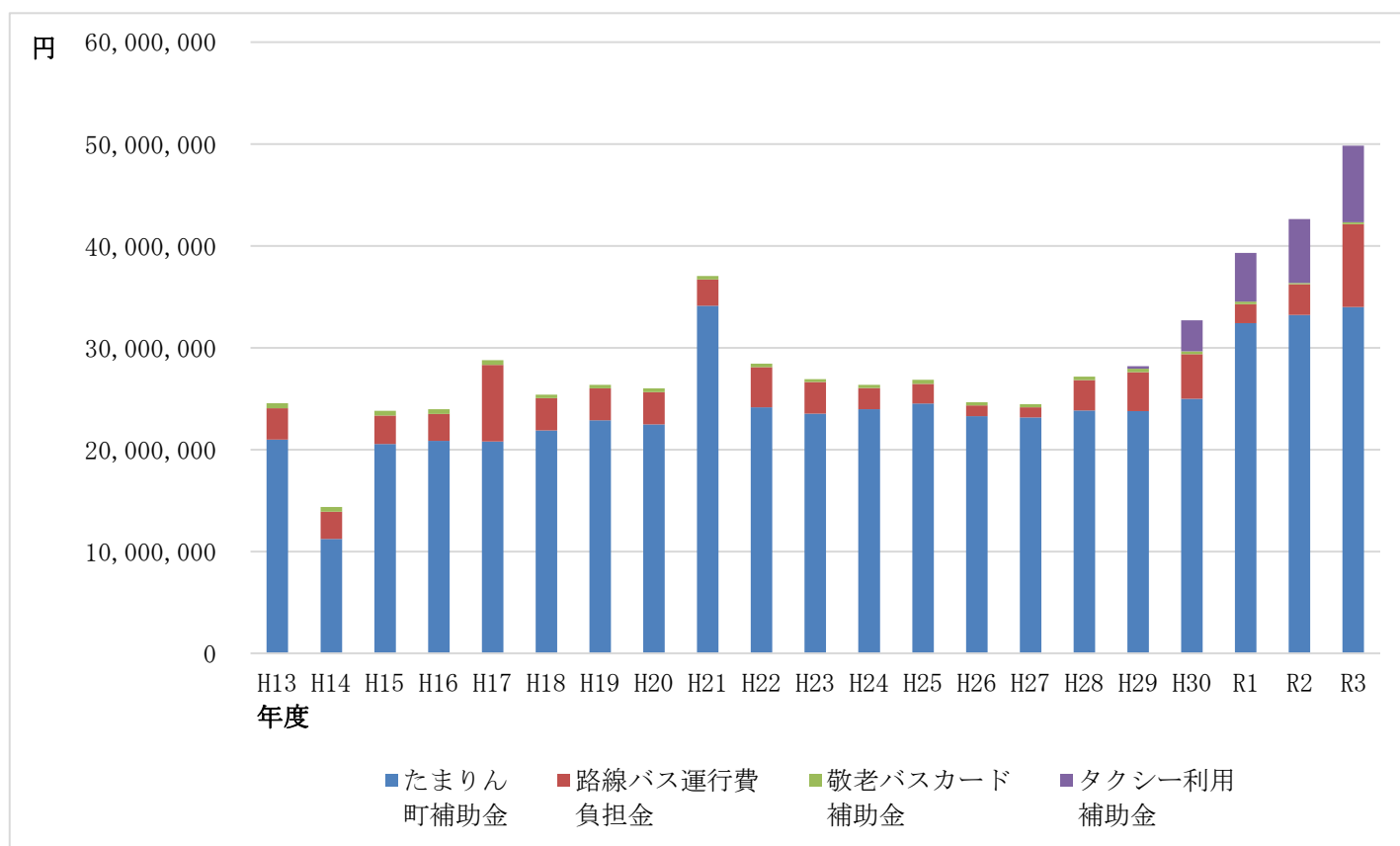
玉村町では、前述の路線バス、たまりん、タクシー利用補助券に加えて、高齢者の移動対策補助事業として、令和3年度まで敬老バスカードの購入補助を実施していた。

交通対策事業費は、車両更新時に高額になることがあるものの、平成13年度にたまりんの運行を開始し、平成28年度まではほぼ横ばいで推移しているが、平成29年度にタクシー利用補助券を開始したことと、コロナ禍により路線バス、たまりんの運賃収入が減少したことにより、増加している。

今後は更に高齢者数の増加と免許返納者の増加が見込まれ、現在の事業を継続していくと交通対策事業費が増加していくことが予想される。

移動に関する交通対策事業費の推移(県補助金・交付金含む)

(グラフ5)



交通対策事業別経費の推移

(表9)

支出年度	たまりん町補助金 (円)	路線バス運行費負担金 (円)	敬老バスカード補助金 (円)	タクシー利用補助金 (円)	合計 (円)
H28	23,831,000	2,989,484	359,100	未実施	27,179,584
H29	23,771,000	3,835,439	335,100	260,440	28,201,979
H30	25,000,000	4,384,071	262,500	3,042,750	32,689,321
R1	32,415,000	1,873,784	242,400	4,769,720	39,300,904
R2	33,208,000	3,020,735	118,500	6,296,930	42,644,165
R3	33,984,000	8,154,251	189,900	7,496,980	49,825,131



## 2 基本方針の策定

### 【課題の整理】

- 人口減少、少子高齢化
- 免許返納者の増加、一方で高齢者の保有者は増加
- 第6次玉村町総合計画アンケートでは、公共交通が30項目の行政サービスの中で、重要度は15位と高いが、満足度は30位と最も低くなっている。
- 乗合タクシーたまりんの大幅な利用者減少による町費負担の増加
- 高齢者へのタクシー利用補助券の利用者増による町費負担の増加
- 路線バスやたまりんの乗り方が分からない
- 町内に鉄道がなく、駅までの移動が不便
- 高等学校への移動は自転車通学が多数
- 交通広場の利活用がされていない
- BRT事業の凍結
- バス、タクシーの運転手不足
- デジタル化の推進（MaaS等）

### 【まちづくり】

- 高崎玉村スマートIC周辺や文化センター周辺の開発等と連携した公共交通とまちづくりの一体性

### 【町民の声】

#### 第6次玉村町総合計画町民アンケートより抜粋

- 運転免許返納後、医者や買い物に行けるか心配
- 通学の交通が不便です。高校進学時の選択肢が狭められてしまう
- 交通手段が自転車か車でないと移動するのが大変なので、店・病院・駅まで行く手段を増やして欲しい

### 課題解決の方向性

上記の課題は、従来行っていた、たまりんのダイヤ改正や停留所の変更等では解決できない状況にあり、玉村町の公共交通の在り方を根本的に見直す時期となっている。

そこで、第6次玉村町総合計画での目指す将来像である『暮らすなら、ここがいい。』を実現するため、次ページを移動に関する課題解決に向けた基本方針とする。

## 玉村町の移動に関する基本方針

### 基本方針①

民間事業者を活用した、周辺鉄道駅へのアクセスを強化し、通学や通勤で利用しやすい公共交通を確立します。

### 基本方針②

高齢者、障がい者、子どもや妊産婦などが安心して外出できる、効率的で持続可能な移動手段を確保します。

#### (1) 基本方針の実現に向けた取り組み

「玉村町の移動に関する基本方針」を実現し、町民の利便性を向上させるため、以下の取り組みを行います。

##### ①行政、町民、交通事業者との連携

課題解決に向け、行政だけでなく、地域住民や交通事業者それぞれが役割を認識し、連携していきます。

→住民の交通ニーズは多岐にわたり、多種多様なものです。そのため、地域内に協議会等を設置し住民と町が話し合い考えることが重要となります。その結果を町、住民代表、陸運局、バス事業者、タクシー事業者等の関係機関で組織する「地域公共交通会議」で協議し決定します。

##### ②他分野との連携

公共交通が支えている各分野（医療・福祉・商業・環境など）と連携して、より効果的、効率的に公共交通を維持します。

→交通弱者が便利で利用しやすい移動手段の確保には、主な目的地である医療機関や商業施設等への移動が重要となります。利用者のニーズが反映されるよう、関係する各分野とも連携し持続可能な公共交通を目指します。また、公共交通を利用したことがない住民も利用しやすい環境整備（駐輪場の整備、M a a Sの推進等）を進めていきます。

## ※参考

### 公共交通に関する各計画における位置づけ

	計画名	公共交通や移動に関する主な施策（要約）
上位計画	第6次玉村町総合計画	公共交通・・・重点目標4 生活しやすい環境をつくる 移動・・・重点目標1 わざわいから生命と財産を守る 重点目標2 子どもを育て未来をつくる 重点目標3 元気に年を重ねられる町をつくる
個別計画等	玉村町公共施設等総合管理計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の適切な維持管理を行う。</li> <li>・社会経済情勢の見通しや、交通量の予測などを踏まえた利用需要の変化に応じ、道路網の再構築を検討する。</li> <li>・道路舗装修繕計画に基づき、舗装劣化度と交通量を勘案しながら、効率的な舗装補修工事を実施する。</li> </ul>
	第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高崎市、前橋市、伊勢崎市に向けた通勤通学バスを充実させ、通勤・通学などの利便性を高める。</li> </ul>
	玉村町都市計画マスタープラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスや乗合タクシーの路線の維持を図るとともに、運行ダイヤの改善や連絡性の強化を進める。</li> <li>・周辺都市の大型商業施設とのネットワークを充実させ利便性向上への取り組みを進める。</li> <li>・持続可能な都市づくりに向けて、住民や事業者等による利用増加策などの取り組みによる路線バスや乗合タクシーの需要の下支えを図り、自家用車に過度に依存しないバランスのとれた交通システムの構築を目指す。</li> <li>・路線バスや乗合タクシーの維持・強化に努め、都市交流拠点（東毛広域幹線道路と藤岡大胡線交差点の周辺地域）や地域拠点（上福島地区周辺の既成市街地）における歩道・自転車空間の充実を進める。</li> <li>・高崎・玉村スマート IC の開設による高速バスの運行が期待されることから、新たな公共交通機関として、路線の新設を要請していく。</li> <li>・高崎・玉村スマート IC 周辺や主要なバス停・都市交流拠点などへの駐車場・駐輪場の適正な配置や利便性の向上に努め公共交通の利用を促し、自動車・自転車交通との連携を進める。</li> </ul>
	玉村町環境基本計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の使用抑制と交通の円滑化</li> </ul>
	玉村町交通安全計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスや巡回タクシーなどの公共交通機関の利用促進</li> </ul>

たまむらささえあい計画（地域福祉計画）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民が住み慣れたまちで安心して暮らしていけるよう、交通弱者の移動手段の確保等の暮らしの環境づくりに取り組む。</li> <li>・外出しやすい公共交通の整備・強化</li> <li>・交通弱者の移動支援の整備・強化 （敬老割引バスカード、高齢者のタクシー利用補助券、障害者の移動支援、重度障害者のタクシー料金の一部補助、妊婦の陣痛タクシー）</li> </ul>
第5次玉村町障害者福祉計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通機関のバリアフリー化の推進</li> </ul>
第6期玉村町障害福祉計画・第2期障害児福祉計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外での移動が困難な障がいのある人に対し、社会生活上必要不可欠な外出や余暇活動等の社会参加のための外出の際の移動を支援する。</li> </ul>
第8期玉村町高齢者保健福祉計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護及び要支援認定を受けている人、身体障害者手帳の交付を受けている人を対象に、入通院や買い物等の日常生活を支援する。</li> <li>・買い物支援については、「ふれあいの居場所」から乗り合わせでのタクシー等の活用も推進する。</li> <li>・町内に限定されている移送サービスの利用条件や今後の利用希望者の増加に伴う対応等について検討する。</li> <li>・公共交通手段の路線バスや「たまりん」の利便性の向上を図るとともに、高齢者（移動困難者）に対してタクシー利用補助券を交付する。</li> </ul>
第2期玉村町子ども・子育て支援事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育施設周辺の歩道整備を重点的に行い、安全な交通環境を確保します。</li> </ul>
玉村町地域防災計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者、障害者、外国人、乳幼児、妊産婦等が安全に避難できるよう歩道の拡幅、段差の解消、点字案内板及びわかりやすい避難所案内板の設置を行うなど、環境整備に努める。</li> <li>・災害時の緊急交通路の整備、施設及び設備の応急復旧、緊急輸送の確保、道路交通の禁止、制限及び交通の確保</li> </ul>
玉村町国土強靱化地域計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路施設の老朽化対策として、各種長寿命化計画及び維持修繕計画に基づき、計画的な点検・調査、維持補修や更新を進める。</li> <li>・路線バスの災害時の体制整備として、路線バス事業者に対し、災害時の被災者や物資の代行輸送等の協力体制を確保する。</li> </ul>